

土砂災害現場で遠隔操縦式建設機械を学ぶ

～遠隔操縦式建設機械操作訓練を開催～

【大規模土砂災害対策技術センター】

大規模土砂災害対策技術センターの取り組みとして、災害現場で作業員の安全を確保し復旧作業を行うことができる建設機械の遠隔操縦技術の紹介と、操作員の育成を目的として操作訓練を行いました。また、那智勝浦町立市野々小学校の5年生6年生13名を招待し、国土交通省が行っている災害対策を学んでもらうため、遠隔操縦式建設機械と災害対策用機械の見学会を開催しました。

開催の概要

日 時：平成29年11月30日（木）13:30～16:00（見学会13:00～14:00）

場 所：和歌山県土砂災害啓発センター及び砂防工事現場（鳴子谷川）

参加者：53名（和歌山県建設業協会 新宮地方建設業協同組合員）
（紀伊山系砂防事務所発注 工事受注者）
（見学会 那智勝浦町立市野々小学校児童）



プログラム：○講習会

遠隔操縦式建設機械の概要説明
遠隔操縦式建設機械を用いた災害復旧現場事例紹介
分解対応型バックホウの概要説明

○遠隔操縦式建設機械操作訓練
外付遠隔操縦装置の遠隔操作の実施

実施状況



参加者の声

- 操作訓練の実技ができてよかった。
- 操作が意外と難しかった。勉強になった。

- 危険な所での作業時に人が重機に乗らなくても離れたところから操縦できるのでとても安全だと思いました。
- 必要な技術なので数多くの場を提供していただきたい。

大規模土砂災害対策技術センターでは、引き続き土砂災害対策に関わる人材育成を積極的に取り組んでいきます。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 大規模土砂災害対策技術センター
〒649-5302 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町市野々3027-6
（和歌山県土砂災害啓発センター2F） TEL 0735-55-0820

